



梅の開花の便りがとどく季節となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

長引くコロナ禍や昨年からのウッドショックの影響など何かと不安が残る昨今ではありますが、ますます大きな比重をもつおうち時間や、SDGsなどによる環境問題への意識の高まりによって、住まいに対する価値観は大きく変化しています。その中で木材という自然素材のぬくもりにあふれ、低炭素社会にも貢献できるログハウスは、理想の住まいのかたちの一つではないでしょうか。

ログハウス協会会員一同、またログハウスにかかわる方々と協力して、ログハウス業界全体を盛り上げていきたいと思っております。

先の見通しがつき辛い状況が続きますが、くれぐれもご自愛ください。

日本ログハウス協会会長／芳賀沼 養一

Topics1

事務局からのお知らせ

岡山県・中学校生徒(3名)のリモート学習間伐ログハウスについて

例年は都内見学学習として、関係団体へ訪問し専門家とのディスカッションが学習コースとのこと。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大から学内にてZoom対応となった。生徒の主たる関心は森林の災害防止と間伐の実施、間伐木を活用したログハウスの建築現状など。彼らにとって貴重な機会と認識。

最初は、岡山県の森林・林業の取組み進んでいて、国内トップクラスのものであること、また、ヒノキ人工林比率がスギ人工林比率を上回るものであること重要とした。(全国的にはスギが主体を占めるのが森林内容)

併せて間伐の実施と間伐木の利用、森林の土砂災害防止の役割について概況話す。

その後、林業は、ヘクタール当たり約3,000本のスギ、ヒノキ苗木を植栽します。その後下刈、除伐、枝打ち、20~25年頃初回間伐(切り捨て間伐・ほとんどか林内に捨てる仕組み 立木本数は2,000本以下へ)、30~40年頃2回目の間伐実施(立木本数1,500本程度へ)。加えて3回目間伐もあり、伐期は60~70年が標準となるが、近年は80年以上の長伐期もあり。最終的な林内立木は800~1,000本程度の本数となることモデルの一つとした。

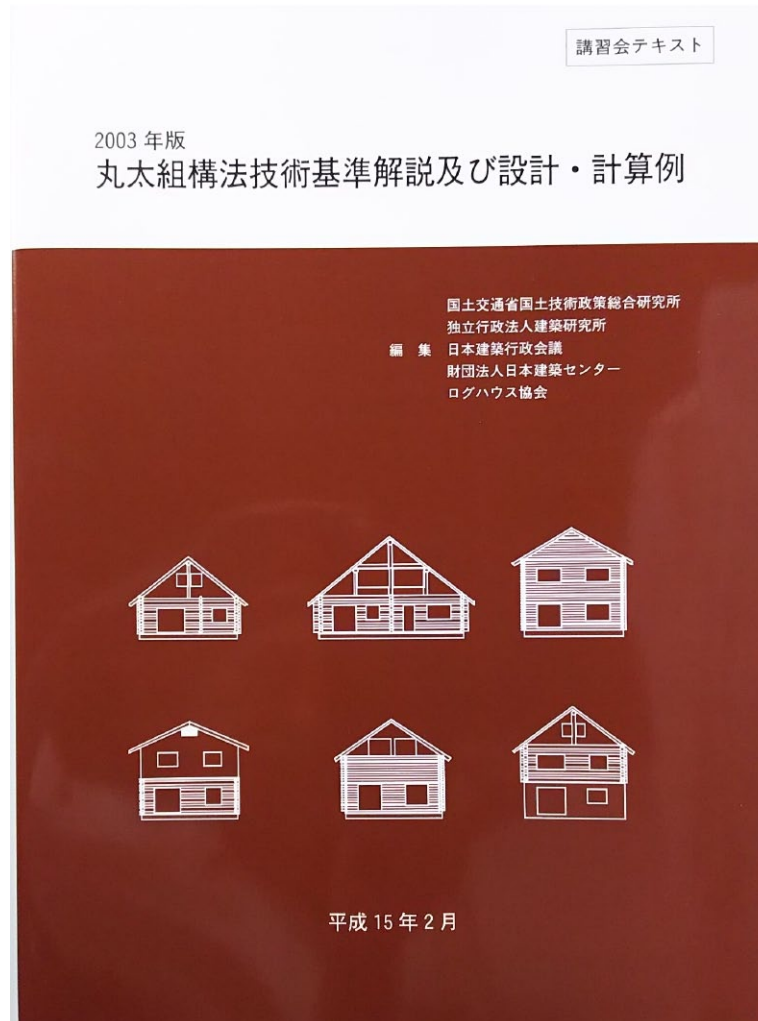
なお、岡山県のスギ、ヒノキの間伐材は優良木材(88mm程度)としてログハウス部材防耐火性能認定が図られていますので、機会を捉えて県内・蒜山高原に出かけてくださいと例示する。小規模ログハウスのモデルとなるものが展示される。

次にログハウス丸太組構法と在来軸組工法住宅での長所、短所はどのようか。伝統的な軸組も、さらに丸太組構法も、今後の技術開発を進めることがポイント。3階建て以上木造軸組の実現、3階建てログハウス事務所の技術開発も実現してきた。

まさに間伐材を含めて多様な木材供給がされ、建築設計等での技術開発も蓄積され、皆さんの建築分野での活躍は夢大きいとした。

当方森林・林業・木材産業に深く関心をもっていただくこと、スギ、ヒノキ等ログハウスの仕組みについて説明の機会を得たことは大きな喜び。

丸太組構法技術基準解説及び設計・計算例の改訂に向けて



丸太組構法技術基準解説及び設計・計算例

丸太組構法の建物を設計する際には実務者にとって実務上のバイブルであるが、発刊からもうすぐ20年になろうとしています。

確認申請をする際にはこの本に沿って設計業務をしておられると思いますが、時代も変化したため現況にそぐわない部分、詳しい説明等が必要になってきました。また確認審査機関の方々もこの本を参照されているため、不明確な部分を明確にして欲しい要望も多くなってきています。

ログハウス協会では、一昨年よりワーキングを立ち上げ、全般的な見直しをしてきました。特に解説部分の充実、設計例を増やすなど実際に役立つことを念頭に進めてきました。この度、発刊元の財団法人日本建築センター様が主体となった改訂委員会が立ち上がることになりました。

改訂委員会では大橋先生を始め、各先生方の意見を頂戴し改訂作業へと入ります。改訂本が出ることで、確認申請がスムーズに進み、同時に正しい施工へと繋がると思います。発刊にはもう少し時間が掛かりますが、しばらくのご辛抱をお願いします。

建設キャリアアップシステムについてのお知らせ

建設キャリアアップシステムの概要をご覧ください。

建設キャリアアップシステムの概要



- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格や現場での就業履歴等を登録・蓄積し、**技能・経験が客観的に評価され、技能者の適切な処遇につなげる**仕組み
- これにより、①若い世代が**キャリアパスの見通し**をもてる、②**技能・経験に応じて処遇を改善する**、③**技能者を雇用し育成する企業が伸びていける**建設業を目指す
- システムは、日建連、全建、建専連、全建総連など、**業界団体と国が連携して官民一体で普及**を推進

<建設キャリアアップシステムの概要>

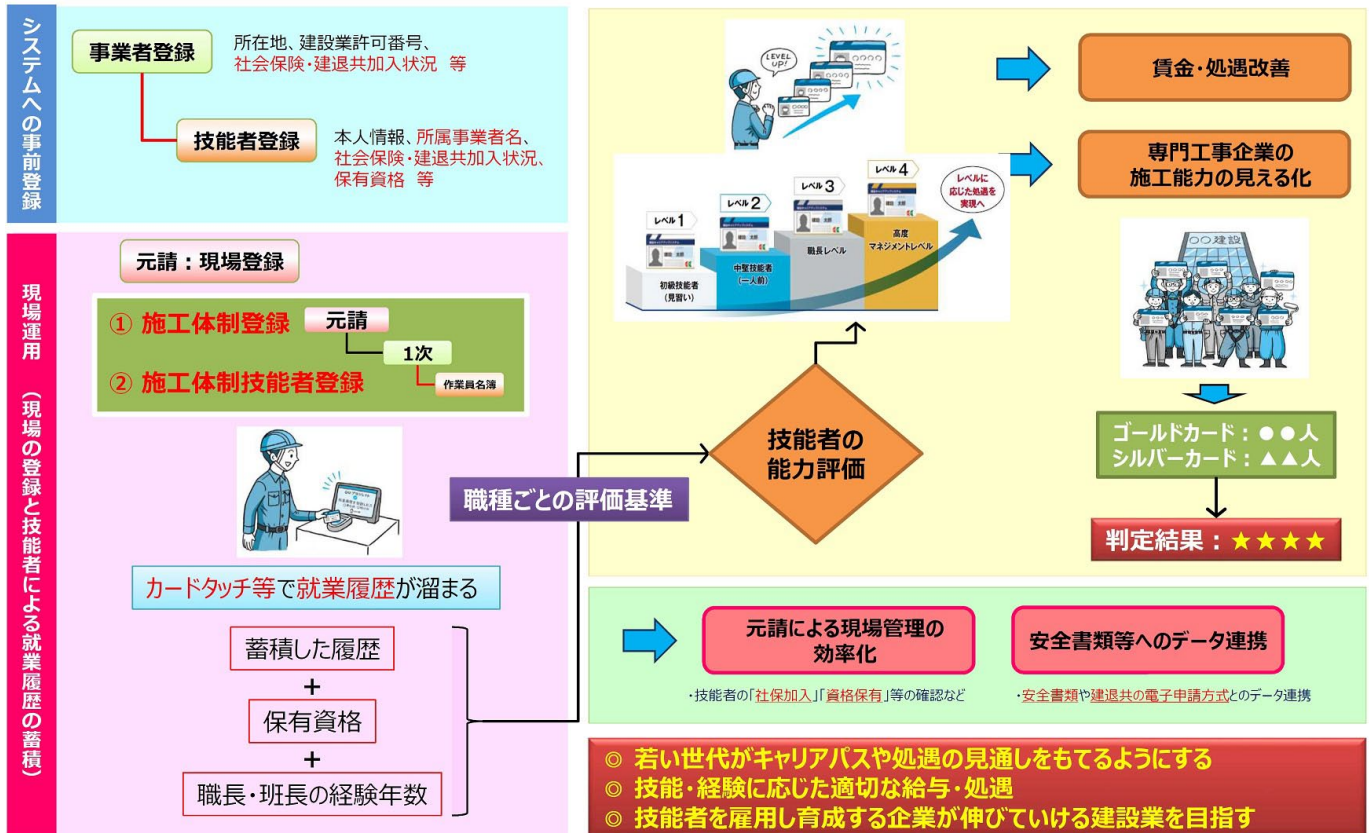
※システム運営：（一財）建設業振興基金



- ◎ 現場を支える技能者が、技能・経験に応じて適切に処遇され、働き続けられる環境づくり(働き方改革)
 - ◎ 技能者の雇用、育成に取り組む企業の成長(生産性向上)
- **建設業が「地域の守り手」として将来にわたり持続的な役割を担っていくために必要**

建設業が将来にわたって、その重要な役割を果たしていくためには、現場を担う技能労働者（技能者）の高齢化や若者の減少といった構造的な課題への対応を一層推進し、建設業を支える優秀な担い手を確保・育成していく必要があります。そのためには、個々の技能者が、その有する技能と経験に応じた適正な評価や処遇を受けられる環境を整備することが不可欠です。それを受けて国土交通省と建設業の各団体が進め始めたシステムです。

建設キャリアアップシステムの基本的な仕組み



建設キャリアアップシステムの基本的な仕組み

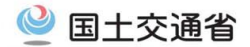
大手ゼネコン、公共工事に関係する企業の各種技能者の登録は進んでいますが、建築大工分野は進んでおりません。

特にイラストにあるように技能者が登録をしてICカードを取得しても、現場にカードリーダーを設置することが困難なため、またメリットを感じないことも理由です。

カードリーダーを設置せずに、携帯電話、スマートフォンを利用したシステムの実証をログハウス協会の会員も参加しており、今後はハードルが下がると思います。

元請企業にもメリットがあります。小さい表ですがまずは業者登録からしましょう。

元請企業による利用を促進・支援する (現場で技能者がカードリーダー等を使える環境づくり)



公共工事発注者によるインセンティブ措置の導入

- ◎ 国の直轄工事のほか、都道府県や独法等でモデル工事業や総合評価の加点措置の導入が広がり
- ◎ 今後さらに地方公共団体等を中心に取組を加速化

- 【都道府県や市町村に対する普及促進の体制】
- 都道府県や政令市には、ブロック別CCUS連絡会議で情報共有し活用を促進
 - 市町村に対しては都道府県公契連を通じて働きかけ



経営事項審査での加点評価

- ◎ 現行の加点評価に加えて、新たに、元請としてのCCUSの取組状況を経営事項審査において評価することを検討

- 【現行の経営事項審査における加点評価】
- 建設キャリアアップシステムにおいてレベル4・3と判定された者の数に応じて評点を付与 (Z1)
 - 建設キャリアアップシステムでレベル2以上にアップした建設技能者の割合に応じて評点を付与 (W10)

現場ニーズに応じたツールの多様化

- ◎ 小規模現場におけるスマホや携帯電話での就業履歴の蓄積 (カードリーダーやタッチを不要)



ご自身の顔をスマホにかざして入退場が登録可能

カードリーダーが常設できない現場でも対応可能。
電源なし・現場事務所なし・現場管理者なし

現場管理の効率化・安全書類や建退共等とのデータ連携

現場管理の効率化

(注意) 個々の工事現場の情報のみ閲覧可
(他のゼネコン等の下請の専門工事業者等の技能者情報は閲覧できない)

- ① 施工体制に登録された事業者・技能者の情報 ⇒ 元請で確認が可能
・当該現場に施工体制登録された技能者の「職種」「立場」「社保加入」「資格保有」情報
- ② 技能者の就業履歴、出面確認、建退共積立情報 ⇒ 元請・下請で相互確認が可能
・技能者の0日ごとの就業履歴、就業内容 (職種・立場・作業内容等)、建退共充当日数 (月別カレンダー)

安全書類等へのデータ連携

- ◎ 施工体制台帳、再下請負通知書 (変更届)、作業員名簿へデータ連携可能 (自動反映)
(工事名・発注者名・下請事業者名、社会保険等の加入状況など)
※エクセル表で出力できるため、自動反映される情報以外を手入力で作業することで作業負担が軽減

建退共事務の効率化

※令和4年度早期にCCUS-建退共間の就業履歴の連携に向けたシステム運用を開始予定

- ◎ 建退共の電子申請方式の導入に伴いCCUSで蓄積された就業履歴を掛金充当に活用

【カードリーダー等の購入等に係る経費の助成】 CCUSを活用した雇用環境整備を実施する建設事業主団体に対してカードリーダーの購入等に係る経費を助成 (厚労省)

能力評価基準にはレベル1から4まであり、レベル3には認定ログビルダーも明記されています。
ログハウス協会では認定ログビルダーの新規、更新等を積極的に進めていきます。



能力評価基準【建築大工】



CCUS職種コード	3 4 大工 - 0 1 大工、0 2 宮大工、0 3 造作大工、0 4 組立大工、0 5 修繕大工、0 6 木工、0 7 大工 (ツーバイフォー工法)、0 8 外壁大工、0 9 大工 (丸太組工法)	
能力評価実施団体	(一社) J B N・全国工務店協会、全国建設労働組合総連合 (一社) 全国住宅産業地域活性化協議会、(一社) 日本ツーバイフォー建築協会 (一社) 日本木造住宅産業協会、(一社) 日本ログハウス協会、(一社) プレハブ建築協会	
呼 称	建築大工技能者	
レベル 4	就業日数	1 0 年 (2150日)
	保有資格	◇登録建築大工基幹技能者(00032) ◇優秀施工者国土交通大臣顕彰 (建設マスター) (91001) ◇安全優良職長厚生労働大臣顕彰(93001) ◇卓越した技能者 (現代の名工) (94001,94002) ◇技能グランプリ (金賞・銀賞・銅賞・敢闘賞) (95101,95102,95103,95104) ●レベル 2、レベル 3 の基準の「保有資格」を満たすこと
	職長経験	職長としての就業日数が 3 年 (645日)
レベル 3	就業日数	7 年 (1505日)
	保有資格	以下の資格のうち 2 つ以上 ✓ 1 級又は 2 級建築大工技能士(10601,10602) ✓ 枠組壁建築技能士(30007) ✓ 1 級又は 2 級建築施工管理技士(30007,30008) ✓ 1 級若しくは 2 級建築士(30002,30003)又は 木造建築士(30004) ✓ 職業訓練指導員 (建築科・枠組壁建築科・プレハブ建築科) (30091) ✓ 木材加工用機械作業主任者技能講習(40001) ✓ 建築物の鉄骨の組立て等作業主任者技能講習(40012) ✓ 足場の組立て等作業主任者技能講習(40011) ✓ 木造建築物の組立て等作業主任者技能講習(40019) ✓ 青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(92001) ✓ プレハブ建築マスター(30092) ✓ 認定ログビルダー(30093) ●レベル 2 の基準の「保有資格」を満たすこと
	職長・班長経験	職長または班長としての就業日数が 0.5 年 (108日)
レベル 2	就業日数	3 年 (645日)
	保有資格	●丸のこ等取扱作業安全衛生教育(60010) ●足場の組立て等作業従事者特別教育(50052) 又は 足場の組立て等作業主任者技能講習(40011)
レベル 1	建設キャリアアップシステムに技能者登録され、レベル 2 から 4 までの判定を受けていない技能者	

※ ●印の保有資格は、必須。◇印の保有資格は、いずれかの保有で可。[]は、ccus職種コードを示している。

※ 就業日数は、215日を1年として換算する。

以下のリンクもご参照下さい。

●国土交通省 ポータルサイト

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_fr2_000033.html

●能力評価制度のページ

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_fr2_000040.html

令和4年度ログハウス建築コンテスト応募スタートします

多数のご応募お待ちしております。



令和4年度
ログハウス
建築コンテスト

コンテスト応募締切
令和4年4月22日(金) 必着

ログハウス設計コンペ部門
〔参加登録期間〕
令和4年2月3日～4月8日
〔作品提出期間〕
令和4年2月25日～4月22日

詳細は裏面の募集要項を御覧ください。



協会理事メンバーのご紹介

顧問



夢木香株式会社
中川 信治

SDGsの観点からも、すべてのものを出来る限り地産地消で進めるべき、2022年のスタートです。
一般社団法人日本ログハウス協会も皆で力を合わせて、大きく飛躍しましょう。

会長



株式会社芳賀沼製作
芳賀沼 養一

会長就任半年、まだまだ何もできておりませんが、協会のガバナンス、ディスクロージャー、コンプライアンスを整え、協会の皆様に役立つように理事一同力を合わせて頑張ります。

理事



株式会社北陸リビング社
北出 秀樹

コロナ感染や環境問題が私たちの未来に暗い影を落とす…
こんな時代だからこそ私たちログ屋は新しい時代のログブームを巻き起こそうではありませんか

理事



東京都市大学名誉教授
大橋 好光

ログハウス業界のさらなる発展のため尽力してまいります。

理事



株式会社ログハウス二十一
松延 浩志

省エネと、住宅として快適なログハウスを追求しています。ログハウス業界の中で私に出来ることがありましたら、協力させて頂きます。

理事



株式会社赤井製材所
鈴木 裕一

国産無垢、大径材を利用した大径ログの開発を含め、国産材の普及に尽力してまいります。

理事



株式会社フェニックスホーム
松下 勝久

協会で行った実験や研究データを活用して協会皆様様がより建てやすく、そして建築の幅が広がりますよう働き掛けを行ってまいります。

理事



株式会社アールシーコア
池田 均

理事として、丸太組構法告示の解説書改訂や住宅金融支援機構の仕様書の改訂をお手伝いをしたいです。最近の木造建築物が注目されている状況を利用し、街で見かけるログハウスを増やしていきたいです。

理事



株式会社ゲストハウス
上田 淳

現状に留まることなく挑戦し続け、多くの方にログハウスの魅力をお届けできるよう尽力いたします。

理事



株式会社TALOインターナショナル
高柳 光太郎

本年もログハウス業界のさらなる発展のため尽力してまいります。

理事



株式会社綜建築研究所
五十嵐 賢博

建設界の新しい動きである、建設キャリアアップシステム・働き方改革などの情報提供や、技術関係の仕様書などの検討、省エネや快適なログハウスの魅力は何かを考えていきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

理事



株式会社ビ・ボン
宮下 俊吉

コロナ禍で色々な事の価値が原点回帰していると思います。建築では集中の生活様式への建物から分散への移行、経済的豊かさから心の豊かさへの回帰、2拠点型生活様式への転換、今こそログハウス本来の価値観を普及するチャンスとして邁進したく思います。

理事



株式会社キハタトレーディング
喜畑 隆之

少しでも多くの方にログハウスの魅力をお届けできるように、ログハウス業界のさらなる発展の為に尽力してまいります。

理事



株式会社佐藤林業
佐藤 賢二郎

国産材振興理事を担当しています佐藤です。熊本地震を通しログハウスの耐震性の高さを痛感しました。ログハウスの振興に頑張ります。

監事



株式会社ホンカ・ジャパン
平井 邦明

多くの二酸化炭素を蓄積した木材を使用した環境対策や「自然素材に囲まれた健康的な暮らし」を実現するログハウスの魅力をより多くの方々に知っていただくことで、ログハウス業界の未来につながるよう尽力してまいります。

監事



有限会社土倉製材所
土倉 宜也

初の理事会メンバー入りとなります。若輩者ですが、ログハウス業界の発展のために尽力してまいります。

発行

一般社団法人 日本ログハウス協会 事務局

TEL ■ 03-3588-8808

FAX ■ 03-3588-8829

東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 1F
Email ■ info@loghouse.jpn.com
<http://www.loghouse.jpn.com/>